

上京中学校 1年 道徳だより 6月発行

もっとすてきな自分に出会うために ——道徳で、心をアップデートしていこう

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として位置づけられるようになり、3年目になります。上京中学校では、学級担任が行う担任道徳と、学年の教員が各クラスを順に回って行う持ち回り道徳を組み合わせ、下記の22の内容項目について、**自分ならどうするのかを問い、自分自身のこととして考え、議論していく道徳** を目指して取り組んでいます。

「1年間で学ぶこと（22の内容項目）」

Aの視点…自分自身に関すること

(自主,自立,自由と責任/節度,節制/向上心,個性の伸長
/希望と勇気,克己と強い意志/真理の探究,創造)

Bの視点…他の人との関わり

(思いやり,感謝/礼儀/友情,信頼/相互理解,寛容)

Cの視点…集団や社会との関わり

(遵法精神,公德心/公正,公平,社会正義/社会参加,公共の精神/勤労
/家族愛,家庭生活の充実/よりよい学校生活,集団生活の充実
/郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度
/わが国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度/国際理解,国際貢献)

Dの視点…生命や自然、崇高なものとの関わり

(生命の尊さ/自然愛護/感動,畏敬の念/よりよく生きる喜び)

テストの解答は『正解』と『不正解』に分かれます。道徳にも『正解』はありますが、道徳の正解は1つではありません。人の数だけの正解があり、人の数だけの生き方があります。子どもたちが本音で語り合い、心を使って一生懸命考えた足跡をワークシートに残しながら、「今よりもっとすてきな自分に出会うために」を目標に授業を進めています。

この道徳通信では、道徳の授業で子どもたちがどんなことに気づき、考えたのか、子ども達の言葉を定期的に紹介していきます。道徳だよりを通じてご家庭でも意見交換していただき、子どもたちの学びがさらに深まる機会になればと思います。

学校、家庭、地域…子ども達を囲む周りの大人たちが手を取りあい、子どもたちの豊かな心を一緒に育てていきたいです。



22の内容項目のうち、現在持ち回り道徳で扱っている教材をご紹介します。

A	自主, 自律, 自由と責任	『傍観者でいいのか』
	節度・節制	『山に来る資格がない』
	向上心・個性の伸長	『自分の性格が大嫌い!』
B	友情・信頼	『班での出来事』
	礼儀	『朝市の「おはようございます」』
	相互理解・寛容	『いじめに当たるのはどれだろう』
C	遵法精神・公德心	『選手に選ばれて』
	社会参画・公共の精神	『楽寿号に乗って』
	勤労	『新しいプライド』

「朝市の『おはようございます』」

<教材について>

作者は、朝市ですれ違った小学生ぐらいの少年が、見ず知らずの自分にあいさつをしてくれたことに思わず感激します。少年が、自分を一人の人格として対等に受け入れ、無視することなくあいさつをしてくれたことが、うれしかったのです。自分のすべきことを一生懸命やっている子どもの気持ちのよいあいさつに触れた作者の感動を通して、あいさつの持つ意義について考えました。また、☺相手の顔を見て ☺笑顔で ☺相手に聞こえる声ではっきりと ☺自分から という4つのあいさつのポイントを元に、普段の生活で気持ちの良い挨拶を実践してみる取り組みも行いました。

<子どもたちのころのあゆみより>

あいさつを元気よく、明るく言えるようにしたいです。今までは、あいさつを言ってもらって、自分も言うことが多かったけど、自分から言えるようにもしたいです。

あいさつは「心を開く」、「近づく」という意味があるということがわかりました。そしてその挨拶をするときには、笑顔で明るく、相手の顔を見てあいさつをしていきたいです。そして普段あまり挨拶をしない人に対してもこれからは挨拶をしていきたいと思います。

これからは率先して自分からいい挨拶をする。相手により気分になってもらえるようなあいさつができれば、自分もよい気分になると思った。

4つのポイントは出来ているけれど、もう少し今より気持ちをこめて挨拶したいです。今よりも気持ちのよい挨拶ができるようにがんばりたいです。

私は先輩が大好きなのでこれからも挨拶をどんどんして仲良くなりたいです。また、いろいろな先生や友達にも当たり前のように挨拶を自分からしていきたいです。

挨拶をしてきたけど、これからは思いを込めてあいさつをしたいです。あいさつをすると、みんなが笑顔になれるとわかりました。これからはたくさん挨拶をしたいです。



